

2011年5月13日

太陽誘電株式会社

**2011年3月期
連結業績概要**

TAIYO YUDEN

売上は拡大したが、特別損失の計上により当期純損失に

(単位:百万円)	2010年3月期 (2009.4.1～2010.3.31)	2011年3月期 (2010.4.1～2011.3.31)	増減額	増減率
売上高	195,690	210,401	14,710	7.5%
営業利益	4,203	8,792	4,588	109.1%
経常利益	1,966	6,740	4,773	242.8%
当期純利益	△680	△5,506	△4,826	—

営業利益：販売数量の増加、原価低減などの効果により、増益

特別損失：記録製品事業の構造改革に伴い、固定資産除売却損と減損損失で88億円計上

概要

(1) 生産体制の縮小

- ・生産体制

CD-R、DVD-R等の既存製品の生産体制を縮小し、
全体の生産枚数を月産1億1千万枚から6千5百万枚に縮小

- ・棚卸資産

2011年3月末の棚卸資産を前期末比で約40%削減

(2) 人員規模の縮小

配置転換等により、約45%縮小



2012年3月期より、事業黒字化に向けた取組みを強化

記録製品事業の構造改革に伴う特別損失 (2011年3月期 第2四半期に計上)

固定資産除売却損	18億円
減損損失	70億円
合計	88億円



第3・第4四半期累計で減価償却費が約15億円減少

売上高 7億円減少

営業利益 7億円減少

設備や建物の損壊による稼働損(ザッツ福島)、計画停電による稼働損(玉村工場など)

特別損失 14億円計上

設備の復旧費用(ザッツ福島)、棚卸資産や固定資産の廃棄

※震災による被害と現状

人的被害はなし。

電子部品事業: 建物、設備等の被害はなし。玉村工場など一部の生産拠点が計画停電の対象となり3月は稼働率が低下したが、4月上旬より通常稼働に移行。部材調達にも支障なし。

記録製品事業: 生産子会社「ザッツ福島」の建物と設備が損壊。

CD-Rは3月下旬より、DVD-Rは4月上旬より生産再開。BD-Rは復旧中。

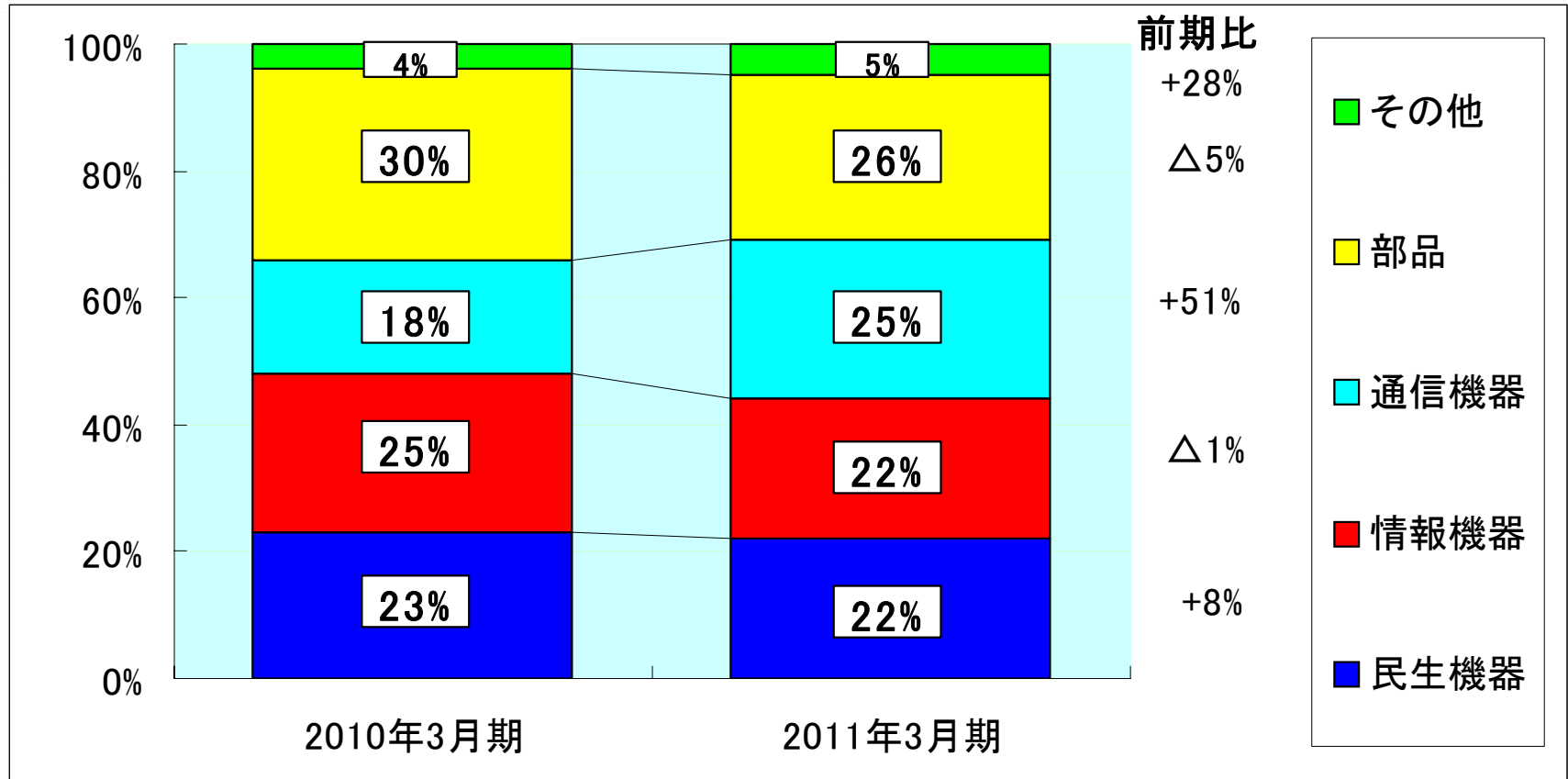
電子部品事業は増収増益、記録製品その他事業は損失計上

(単位:百万円)		2010年3月期 (2009.4.1～ 2010.3.31)	2011年3月期 (2010.4.1～ 2011.3.31)	増減額	増減率
電子部品	電子部品	160,786	179,869	19,083	11.9%
	記録製品その他	34,904	30,532	△4,372	△12.5%
売上高 合計		195,690	210,401	14,710	7.5%
セグメント利益	電子部品	7,895	12,279	4,383	55.5%
	記録製品その他	△3,691	△3,486	204	—
セグメント利益 合計		4,203	8,792	4,588	109.1%

コンデンサ、フェライト及び応用製品、その他電子部品が増収

(単位: 百万円)	2010年3月期 (2009.4.1～2010.3.31)	2011年3月期 (2010.4.1～2011.3.31)	増減額	増減率
コンデンサ	91,045	101,560	10,515	11.5%
フェライト及び応用製品	29,522	31,018	1,496	5.1%
モジュール	36,463	31,763	△4,700	△12.9%
その他電子部品	3,755	15,527	11,771	313.5%
電子部品 計	160,786	179,869	19,083	11.9%
記録製品	26,823	20,479	△6,344	△23.7%
その他	8,080	10,052	1,972	24.4%
記録製品その他 計	34,904	30,532	△4,372	△12.5%
合計	195,690	210,401	14,710	7.5%

事業拡大とスマートフォンの需要増により、通信機器向け増加



(単位:円)	2010年3月期 (2009.4.1～2010.3.31)	2011年3月期 (2010.4.1～2011.3.31)
平均レート	93.48	86.46
末日レート	93.05	83.15

- ・対米ドル期中平均為替レートは86.46円、前期比7.02円の円高
- ・売上高に対する為替影響はマイナス122億円
- ・営業利益に対しては、87億円のマイナス影響

※為替変動による影響額には、米ドル以外の通貨の影響も含まれます。

(単位:百万円)	2010年3月期 (2009.4.1～2010.3.31)	2011年3月期 (2010.4.1～2011.3.31)	増減額	増減率
研究開発費	7,698	8,475	776	10.1%
設備投資額	9,352	17,519	8,166	87.3%
減価償却費	23,922	19,309	△4,612	△19.3%

設備投資額：前期に抑制していた新規投資を再開し、前期比プラス87%と大きく増加
 減価償却費：前期の投資額が小さかったことにより、前期から19%減少

売上高、利益とも前四半期から減少

(単位: 百万円)	第1四半期 (2010.4.1～6.30)	第2四半期 (2010.7.1～9.30)	第3四半期 (2010.10.1～12.31)	第4四半期 (2011.1.1～3.31)	増減額	増減率
売上高	54,948	57,928	51,613	45,911	△5,701	△11.0%
営業利益	3,760	4,342	2,121	△1,431	△3,552	—
経常利益	3,467	3,070	1,575	△1,373	△2,948	—
当期純利益	3,575	△6,724	1,049	△3,406	△4,455	—

2011年3月期 製品別売上高(第4四半期)

TAIYO YUDEN

全ての製品で、前四半期から減収

(単位:百万円)		第1四半期 (2010.4.1～6.30)	第2四半期 (2010.7.1～9.30)	第3四半期 (2010.10.1～12.31)	第4四半期 (2011.1.1～3.31)	増減額	増減率
電子部品	コンデンサ	26,689	28,499	23,958	22,413	△1,544	△6.4%
	フェライト及び応用製品	8,190	8,217	7,401	7,209	△192	△2.6%
	モジュール	8,848	9,145	7,532	6,237	△1,294	△17.2%
	その他電子部品	3,960	4,206	3,733	3,625	△107	△2.9%
	電子部品 計	47,688	50,069	42,625	39,486	△3,139	△7.4%
記録製品	記録製品	5,550	4,943	5,874	4,110	△1,763	△30.0%
	その他	1,709	2,916	3,113	2,314	△798	△25.7%
	記録製品その他 計	7,260	7,859	8,987	6,425	△2,562	△28.5%
合計		54,948	57,928	51,613	45,911	△5,701	△11.0%

(単位:円)	2011年3月期 第3四半期 (2010.10.1～12.31)	2011年3月期 第4四半期 (2011.1.1～3.31)
平均レート	82.98	82.89
末日レート	81.52	83.15

- ・対米ドル平均為替レートは82.89円、前四半期からほぼ横ばい
- ・売上高に対する為替影響はマイナス7百万円
- ・営業利益に対しては、67百万円のマイナス影響

※為替変動による影響額には、米ドル以外の通貨の影響も含まれます。

太陽誘電株式会社

2012年3月期 連結業績予想

TAIYO YUDEN

売上高2200億円、営業利益100億円を想定

(単位:百万円)	2011年3月期 実績 (2010.4.1～2011.3.31)	2012年3月期 予想 (2011.4.1～2012.3.31)	増減額	増減率
売上高	210,401	220,000	9,598	4.6%
営業利益	8,792	10,000	1,207	13.7%
経常利益	6,740	9,000	2,259	33.5%
当期純利益	△5,506	4,000	9,506	—

為替レート：期中平均為替レートは1米ドル85円を想定(前期比1.46円の円高)

単価ダウン：単品部品の想定は△15%

東日本大震災による影響額：売上高100億円減少、営業利益30億円減少

コンデンサ、フェライト及び応用製品などの電子部品が増収の見込み

(単位: 百万円)	2011年3月期 実績 (2010.4.1～2011.3.31)	2012年3月期 予想 (2011.4.1～2012.3.31)	増減額	増減率
コンデンサ	101,560	109,000	7,439	7.3%
フェライト及び応用製品	31,018	34,000	2,981	9.6%
モジュール	31,763	34,000	2,236	7.0%
その他電子部品	15,527	21,000	5,472	35.2%
電子部品 計	179,869	198,000	18,130	10.1%
記録製品	20,479	15,000	△5,479	△26.8%
その他	10,052	7,000	△3,052	△30.4%
記録製品その他 計	30,532	22,000	△8,532	△27.9%
合計	210,401	220,000	9,598	4.6%

(単位:百万円)	2011年3月期 実績 (2010.4.1～2011.3.31)	2012年3月期 予想 (2011.4.1～2012.3.31)	増減額	増減率
研究開発費	8,475	8,500	24	0.3%
設備投資額	17,519	32,000	14,480	82.7%
減価償却費	19,309	21,000	1,690	8.8%

設備投資額：コンデンサやインダクタ、SAWフィルタの能力増強を中心に、320億円の設備投資を行う。

2012年3月期 連結業績予想(半期)

TAIYO YUDEN

(単位:百万円)	2011年3月期 上期 実績 (2010.4.1～9.30)	2011年3月期 下期 実績 (2010.10.1～ 2011.3.31)	2012年3月期 上期 予想 (2011.4.1～9.30)	2012年3月期 下期 予想 (2011.10.1～ 2012.3.31)
売上高	112,877	97,524	106,000	114,000
営業利益	8,102	689	3,500	6,500
経常利益	6,538	201	3,000	6,000
当期純利益	△3,148	△2,357	1,200	2,800

電力総量規制への対策

自家発電設備の導入

国内、海外拠点への生産移管

余震対策

生産設備のアンカー強化などの耐震対策（ザッツ福島）



安定生産を継続し、顧客への供給責任を果たす

当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。